

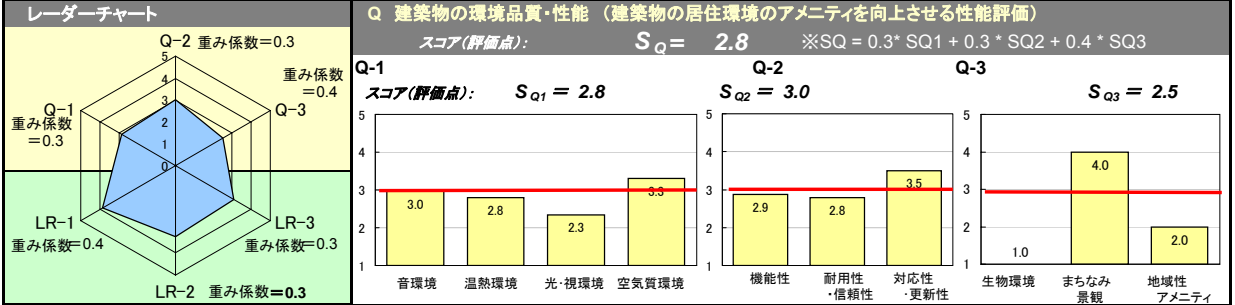
作成日 2006年5月10日 作成者 ○○○ 確認日 2006年5月10日 確認者 ○○○

① 建物概要

建物名称	扶桑化学工業株式会社 京都事業所第二工場			
建物用途	工場			
建設地・気候区分	京都府福知山市	地域区分Ⅳ		
地域・地区	工業専用地域、法22条指定区域			
竣工年	2007年3月 予定	階数	地上7F	
敷地面積	63,787 m ²	構造	S造	
建築面積	1,312 m ²	平均居住人員	7 人	
延床面積	5,881 m ²	年間使用時間	8,760 時間/年	

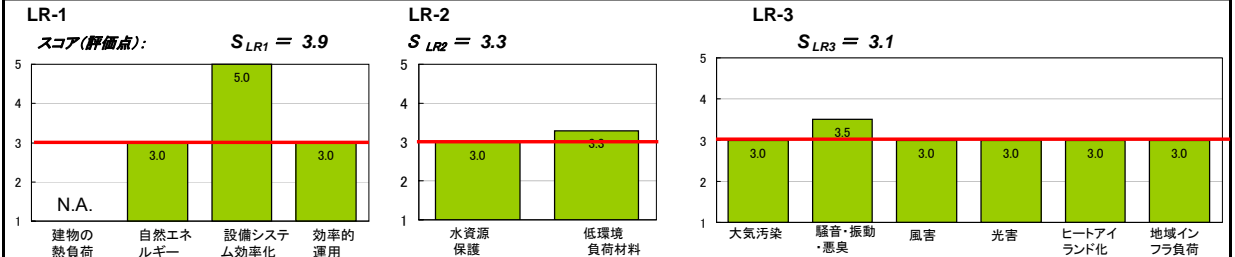
② 建築物の総合的な環境性能評価結果

②-1 建築物の環境品質・性能と環境負荷低減性(評価分野毎)



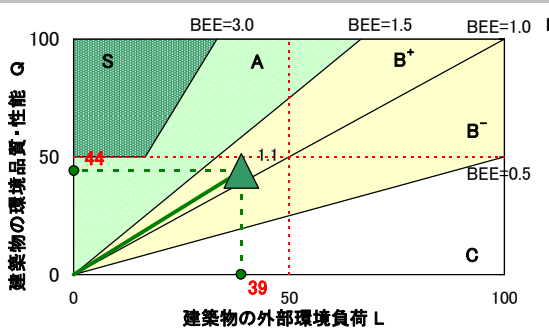
LR 建築物の環境負荷低減性 (建築物の環境負荷を低減させる性能評価)

スコア(評価点): $S_{LR} = 3.4$ ※ $S_{LR} = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3$



②-2 建築物の環境性能効率 (BEE: Building Environmental Efficiency)

BEEによる建築物のサステナビリティランキング



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の外部環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 * (S_Q - 1)}{25 * (5 - S_{LR})} = \frac{44}{39} = 1.1$$

$Q = 25 * (S_Q - 1)$ * S_Q : Score of Q category
 $S_Q = 0.3 * SQ1 + 0.3 * SQ2 + 0.4 * SQ3$
 $L = 25 * (5 - S_{LR})$ * S_{LR} : Score of LR category
 $S_{LR} = 0.4 * SLR1 + 0.3 * SLR2 + 0.3 * SLR3$

③ 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

③-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	10	20	30	40	50%
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²					
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²					
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²					
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²					
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²					
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²					

③-2 デザインプロセスの評価

配慮項目	設計段階	建設段階
1		
1		

備考 注1: 評価結果の表示は①~②まで
 注2: 敷地選定に関わる評価は対象外。当該敷地に建てられる標準的な建築物の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。
 注3: ③の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。